

2024 年度日本海洋学会春季評議員会議事録

日時: 2024 年 5 月 27 日 (月) 17:30~19:00

場所: : 幕張メッセ国際会議場 103 号室 および Zoom を利用したハイブリッド開催

出席者: 江淵会長、原田副会長、相木、青木、安藤、石井、石坂、磯辺、市川、伊藤(幸)、伊藤(進)、岩本、上野、植原、植松、梅澤、大島、岡(顕)、岡(英)、小川、乙坂、小埜、小畑、川合(美)、川合(義)、河宮、神田、北出、瀨瀬、小松、根田、近藤、齊藤、須賀、杉本、鈴木、宗林、張、角皆、東塚、中村、西岡、野口、野中、林、日比谷、広瀬、升本、道田、森本、安田(一)、安田(珠)、安中、吉川 各評議員(54 名)

池田選考委員長(前)、大林理事、久保川編集委員長、土井理事、中野(英)理事、長谷川理事、渡部理事、藤井選考委員長(前)、中野(俊)支部長、福田研究会会長、亀田事務局長、毎日学術フォーラム(米岡)

1. 開会

開会に先立ち、中野理事より一般社団法人日本海洋学会定款第 4 章第 20 条の規程による評議員会の成立要件を満たしている旨の報告があった。議事録署名人には、神田監事、伊藤監事が選ばれた。

2. 会長挨拶 (江淵会長)

江淵会長より挨拶があった。今年度より日本海洋学会が任意団体から一般社団法人となったことについて報告された。杉本名誉会員が瑞宝中綬章を受章したこと、石井雅男会員、安田一郎会員、渡部雅浩会員が令和 6 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)を受賞されたこと、植松光夫会員が The Oceanography Society (TOS) の Fellow に選出されたことについて報告され、祝意が示された。「統合全球海洋観測システム OneArgo の構築と海洋融合研究の推進」がロードマップ 2023 に採択されたことについて報告され、本提案の策定に協力いただいた会員の方々に感謝の意が表された。寺本俊彦名誉会員の逝去、および能登半島地震の犠牲となられた方々に哀悼の意が表された。一般社団法人としてのタイムテーブルが示され、評議員の任期が 4/1~3/31 から 1/1~12/31 へ変更となることなどについて報告された。

3. 審議事項

1) 2023 年度の事業報告について (岡(顕)理事)

2023 年度の事業報告について報告され、承認された。

2) 2023 年度の決算報告および監査報告について (野口理事、神田監事)

2023 年度の決算報告および監査報告について報告され、承認された。
会費未納について質問があり、理事会での対応策等の回答がなされた。

3) その他

3-1) 名誉会員の推薦について (岡(顕)理事)

名誉会員の推薦について提案され、承認された。

3-2) 賞選考委員の委嘱について (江淵会長)

賞選考委員の委嘱について提案され、承認された。

3-3) 受賞記念講演の座長について (岡(顕)理事)

受賞記念講演の座長について提案され、承認された。

来年度以降、理事会での承認事項とし、評議員会では報告事項とすることが提案され、承認された。

3-4) 2025年度の研究大会について (土井理事)

2025年度の研究大会について提案され、承認された。

3-5) その他

環境科学賞の名称を宇野木環境科学賞へ変更を検討する方針について提案された。

4. 報告事項

1) 会務報告

会長 評議員ならびに賞選考委員について ※評議員会後のメールによる追加報告
評議員ならびに学会賞・岡田賞・宇田賞選考委員の任期途中での辞退があり、それぞれ直近の選挙の次点者最上位の会員を補充したことについて報告された。

庶務 2024年度事業計画について (岡(顕)理事)

2024年度事業計画について報告された。

会員数の動向について報告された。

会計 2024年度予算案について (野口理事)

2024年度予算案について報告された。

編集

JO (齊藤編集委員長)

JO Vol.79(1)から80(2)までの発行状況、2023年1月から2024年3月までの投稿・受理状況、特別セクションの編集状況、及び新設された Journal of Oceanography Most Cited Paper Award に2本の受賞論文を決定したことについて報告された
海の研究 (久保川編集委員長)

2023年度の実績及び2024年度の計画、活動方針について報告された。

JOSニュースレター (岩本編集委員長)

2023年度の発行実績、ISSNを取得したこと、および2024年度の発行予定について報告された。

研究発表 (土井理事)

2023年度秋季大会が京都大学で対面形式にて開催されたことについて報告された。

2024年度春季大会がJpGU2024の中でハイブリッド形式にて開催されていることが報告された。

2024年度秋季大会が水産資源研究所の会員により、東京海洋大学品川キャンパスを開催地として実施される予定であることについて報告された。

賞選考

学会賞・岡田賞・宇田賞（石井前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

日高論文賞 奨励論文賞（東塚前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

環境科学賞（藤井前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

吉田賞（池田前委員長）

選考過程および選考結果について報告された。

選挙管理（中野理事）

各賞可否投票および賞選考委員選挙結果について報告された。2024年度の選挙の予定について報告された。

広報委員会（川合委員長）

2023年度の活動について新しい取り組みとともに報告された。2024年度の活動予定について新しい取り組みと共に報告された。パンフレットの更新について報告された。

海洋環境委員会（野口委員長）

2024年度の委員会体制および、「青い海助成」事業に一件応募があり採択されたことが報告された。2023年度採択事業の報告があった。詳細はJOSニュースレターにも掲載予定。

海洋観測ガイドライン編集委員会（長谷川委員長）

2023年度は和文第5版の出版、英文第5版の収集・編集したことが報告された。

2024年度は英文第5版の出版に向けた、改訂・追加事項の検討の予定であることが報告された。

西南支部（中野支部長）

2023年度はニュースレター53号の発行、ホームページの更新、維持管理、支部会連絡会等を実施について報告された。2024年度の予定について報告された。

海洋環境問題研究会（福田研究会会長）

海洋環境問題研究会の総会が5月17日開催され、福田会長の再任を推薦されたことが報告された。秋季大会で50周年目記念として本研究会主催のシンポジウムを開催予定したことについて報告された。2024年度の活動予定について報告された。

沿岸海洋研究会（磯辺研究会会長）

2024年度の新体制および、活動予定について報告された。

海洋生物学研究会（近藤研究会会長）

「海洋生物シンポジウム2024」を2024年3月14日にハイブリッドにて開催した
ことについて報告された。また同日運営委員会を開催したことが報告された。

教育問題研究会（川合研究会会長）

2023年度の活動報告および、2024年度の活動予定について報告された。

リクルート戦略WG（伊藤(幸)理事）

相談窓口の名称を「海洋系の大学・進路の相談窓口」に変更したことについて報告
され、Google form を通じた進路についての問い合わせに2023年度から2024年度
5月15日までに合計37件に対応したことについて報告された。

IAPSO委員会（升本委員長）

学術会議の小委員会の再編に伴い発足したこと、今年度の新体制および活動予定、
およびプサンでのジョイント会議の開催予定について報告された。

2) 学界関連報告

学界動向（原田副会長）

学界関連の動向について報告された。詳細についてはJOS ニュースレターに掲載
される。国連海洋科学の10年への対応について、科学全分野対象の賞に学生や若手
研究者の推薦を積極的に行っていくことについて報告された。「深海アルゴフロ
ートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」は、旧マスタープラン2020
の重点研究計画に採択されており、この申請をもとに、後継プロジェクトとして
「統合全球海洋観測システムOneArgo の構築と海洋融合研究の推進」をロードマ
ップ2023 に申請し採択されたことについて報告された。

日本海洋科学振興財団（原田副会長）

日高論文賞の授与、海外渡航援助、海洋データ同化夏の学校のサポート、について
今年度も実施予定であることについて報告された。

水産・海洋科学研究連絡協議会（江淵会長）

6月16日に協議会が開催予定であることについて報告された。

3) その他

- ・水産研究・教育機構 水産資源研究所水産試験の亀田事務局長より2024年度日本海
洋学会秋季大会の挨拶があった。
- ・賞選考委員会の選挙方法について検討してほしいという意見があった。

以上